

日本経済新聞

私は毎日、天使を見ている。

渡邊 博史著



ハンセン病患者を救済した聖人サン・ラザロの名をいただく精神科病院がエクアドルの首都キトにある。植民地下の18世紀に造られた建物内には、古いキリスト像やマリア像など聖職者が看護を担った時代の遺物が残

る。どこかで時間の流れがせき止められたような不思議な空間だ。その中で暮らす人々の肖像を著者は淡々ととらえた。レンズの焦点は被写体の病ではなく、その奥の人間性にあわせている。(窓社・3,800円)

『日本経済新聞』2007年2月18日付